

平成 20 年度

ガンカモ科鳥類生息調査報告書

平成 21 年 2 月

福井県

## はじめに

ガンカモ科の鳥類は、主として河川、湖沼、海岸などの水域で生息している。これらの生息地は自然環境の変化が顕著に現れるため、それに応じてガンカモ類の生息状況に影響がでるであろう。

また、ガンカモ科の多くの種は狩猟鳥として重要な位置を占め、野生鳥獣の保護と人間生活の共存のためには、その管理において長期にわたる科学的な資料を必要とする。

そこで、ガンカモ科鳥類の渡来数の動態や生息環境の変化を把握するために調査分析を行った。

この調査は、福井県が日本野鳥の会福井県支部へ委託して実施したもので、調査結果が本県におけるガンカモ科鳥類の越冬期の生息状況を明らかにし、かつ鳥獣保護政策に資することができれば幸いである。

なお、報告書をまとめるにあたり、調査に協力をいただいた福井県支部会員各位に対して心からお礼申し上げる次第である。



(1) 福良ヶ池



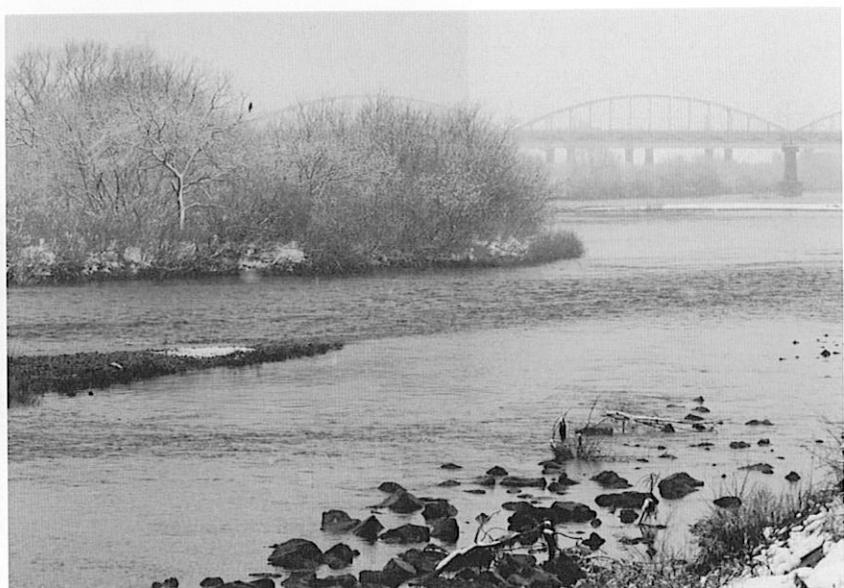
(2) 北潟湖



(3) 加戸大堤



(4) 九頭竜川河口域



(5) 九頭竜川中流域



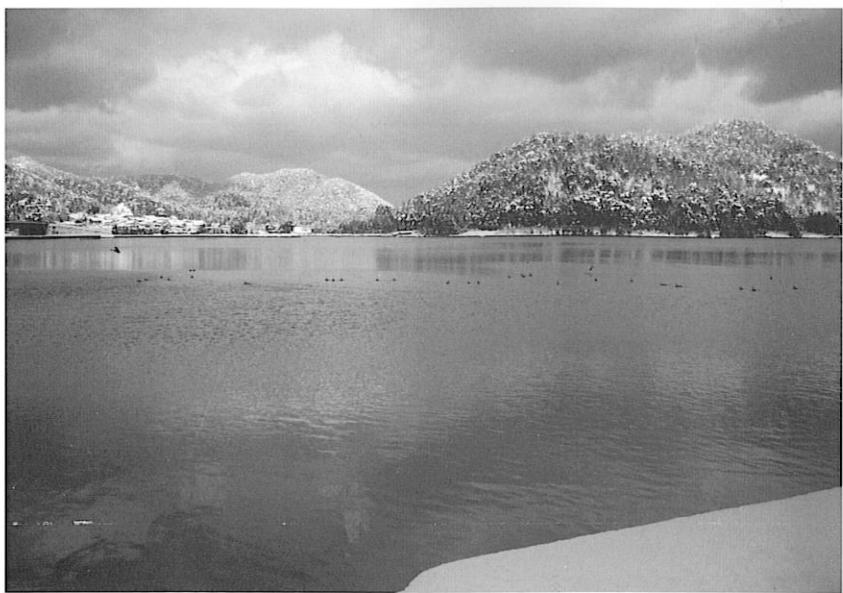
(6) 日野川



(7) 猪ヶ池



(8) 阿原ヶ池



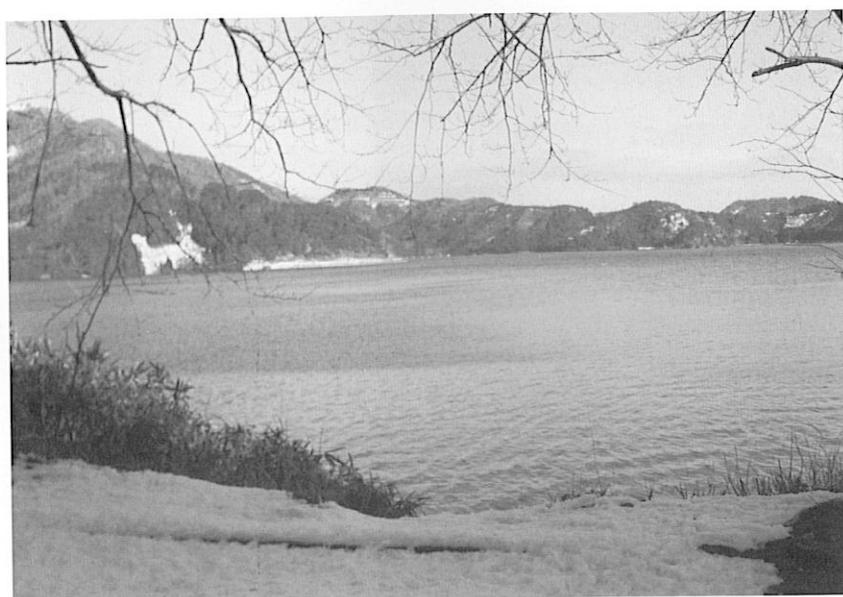
(9) 久々子湖



(10) 菅 湖



(11) 三方湖



(12) 水月湖



(13) 小浜湾



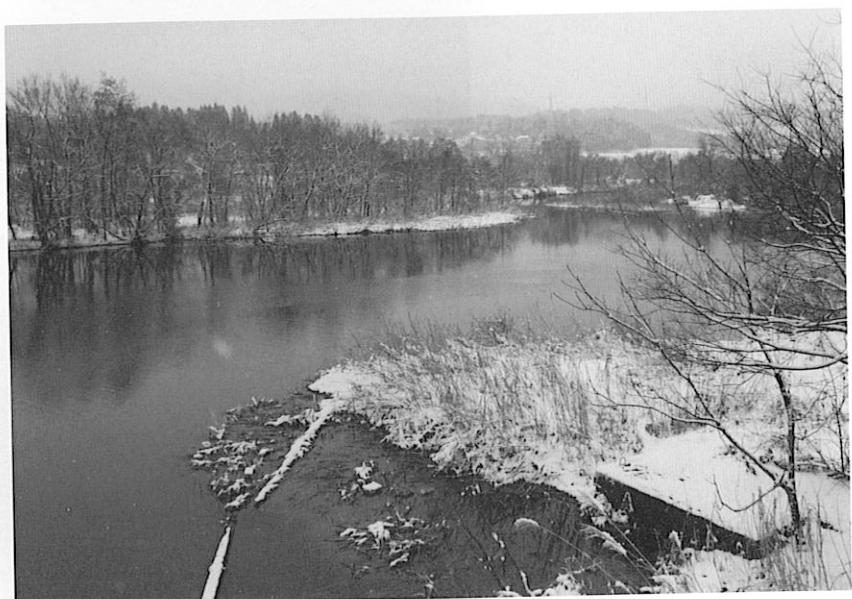
(14) 足羽川



(15) 福井新港



(16) 坂井平野



(17) 九頭竜川中上流域

## 1. 調査の概要

### (1) 経過

この調査は、昭和44年度から林野庁（昭和48年度から環境庁）の指示により、毎年1月15日を中心に取り組んでいるもので、今回は40回目である。昭和52年度からは、その業務の委託を請けた日本野鳥の会福井県支部が主要な調査業務として取り組んでいる。

### (2) 調査の目的

福井県内に渡来するガンカモ科鳥類の渡来状況に関する基礎資料を収集し、鳥類保護行政に資するものとする。

### (3) 調査実施者

福井県の委託を請けて、日本野鳥の会福井県支部が実施した。調査員はガンカモの識別能力があり、また過去にも調査経験のある会員80名で構成した。

### (4) 調査日

坂井平野については平成21年1月18日、他の調査地については平成21年1月11日に調査を実施した。

### (5) 調査地

福井県から指定された湖沼、河川、内湾、平野部などの計17箇所で調査を実施した（第1図、第2図）。

### (6) 調査及び分析

調査地の全域をカバーするように観察地点をいくつか設定し、調査地域内で観察されたガンカモ科鳥類の種とその個体数を記録した。各調査地には、3～16名を配置し、双眼鏡（8～20倍）及び望遠鏡（20～60倍）で種を判定し、その個体数を計数器により記録した。また、面積の広い調査地においては無線機などを使用し、鳥の移動による重複カウントを防止した。

調査結果をもとに、種構成、個体数、生息状況などの変化について過去の調査記録と比較し分析を行った。

## 2. 調査の結果と考察

### (1) 概要

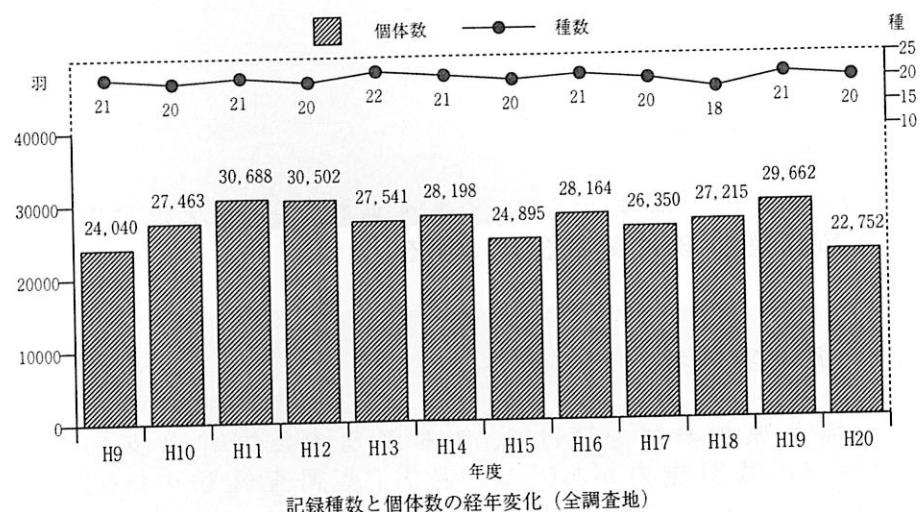
カモ類の調査を実施した1月11日は、気温が-2~6°Cで、調査箇所により降雪があったものの、調査は順調に行われた。また、おもにガン類の調査を実施した1月18日は、気温が4°Cで、調査は順調に行われた。

計17箇所の調査地で、20種22,752羽のガンカモ類が記録された（第1表）。昨年度と比較して種数は1種減少し、個体数は6,910羽減少した。ガンカモ類の個体数は平成8年度以降、25,000~30,000羽程度の水準を維持していたが、平成20年度にはそれを下回った。種数は平成2年度以降、20種前後で一定しており、平成20年度にも変化はなかった。

今回の調査で、ガン類が2種2,655羽、ハクチョウ類が1種38羽、カモ類が17種

20,059羽記録された。昨年度と比較して個体数に大きな増減があった種は、マガソ（1,044羽増）、マガモ（2,825羽減）およびカルガモ（2,257羽減）であった。

優占度の高かった種は、マガモ（49.0%）、コガモ（10.3%）、ヒドリガモ（7.8%）、カルガモ（7.3%）などであった。逆に個体数の少なかった種は、シジュウカラガン（1羽）、ウミアイサ（1羽）、オシドリ（7羽）などであった。（第3表）。

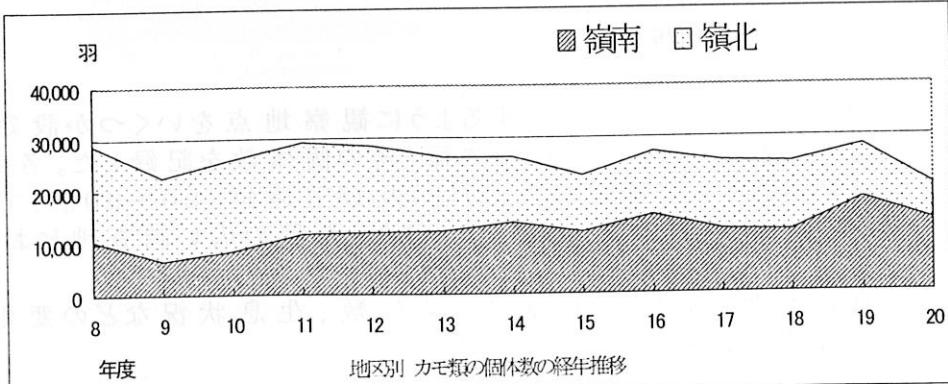


### (2) 調査地別

種数は、菅湖で14種ともっと多く、次いで北潟湖および三方湖で13種、久々子湖で12種が記録された（第1表）。昨年度に比べ種数が増加した調査地は、菅湖（4種増）、福井新港（3種増）など7箇所であった。逆に種数が減少した調査地は、九頭竜川河口流域（7種減）、日野川（3種減）など6箇所であった。

個体数は、菅湖で3,377羽ともっと多く、次いで小浜湾で3,371羽、水月湖で2,879羽が記録された（第1表）。昨年度に比べ個体数が増加した調査地は、坂井平野（648羽増）、水月湖（547羽増）、福良ヶ池（230羽増）など6箇所であった。逆に個体数が減少した調査地は、三方湖（1,965羽減）、日野川（1,566羽減）、久々子湖（1,138羽減）、菅湖（1,080羽減）など11箇所であった。

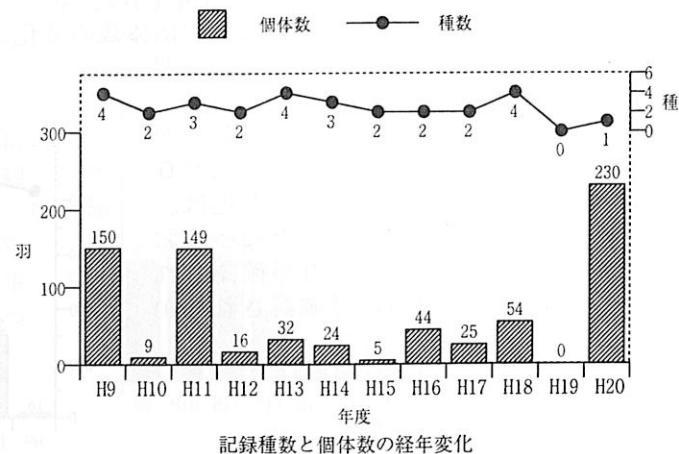
地方別の個体数は嶺北地方、嶺南地方とともに減少した。嶺北地方では個体数は平成11年度以降減少傾向にあり、平成20年度にもこの傾向には変化が無かった。また三方五湖全体の個体数は10,060羽で、昨年度（13,696羽）と比べて減少した。



## 【福良ヶ池】

1種230羽のガンカモ類が記録された（第1表）。昨年度に比べ、種数は1種増加し、個体数は230羽増加した（右図）。ただしこれは上空通過のマガソが記録されたものであり、水面上のカモ類は昨年と同様、1羽も記録されなかった。

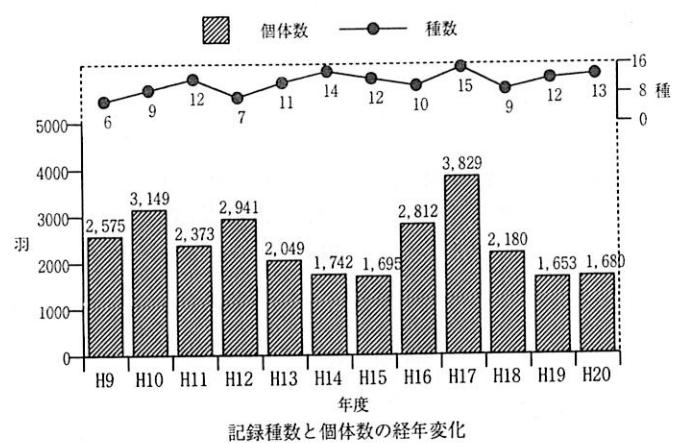
当調査地は池の面積（3 ha）が狭いため、カモ類の警戒心が強く、その個体数は毎年安定していない。昭和61年度や平成5、6年度には1,000羽を越える個体数が記録されたこともあったが、通常は100羽以下の個体数水準である。



## 【北潟湖】

13種1,680羽のガンカモ類が記録された（第1表）。昨年度に比べ、種数は1種増加、個体数は27羽増加した（右図）。昨年度と比較して個体数の変化が大きかった種は、上空を通過したマガソ（162羽増）、コガモ（87羽増）などであった。

当調査地の記録個体数は、平成2、3年度には4,500羽程度であったが、平成13年度以降は平均2,200羽程度である。種別では、マガモの個体数が17年度をピークに減少傾向にある。一方種数は、年変動が大きいものの、平成3年度以降増加傾向にある。

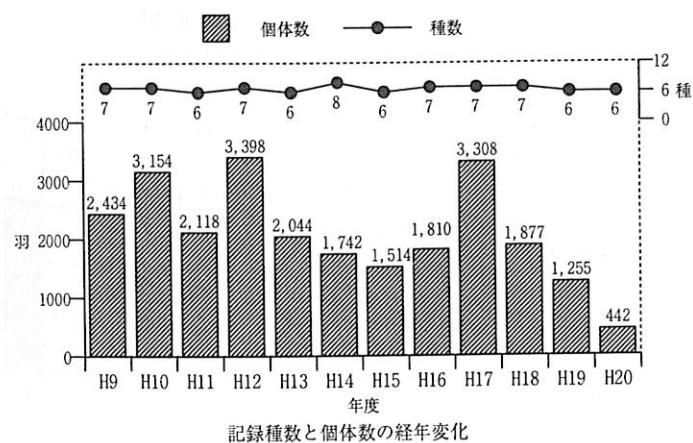


## 【加戸大堤】

6種442羽のガンカモ類が記録された（第1表）。昨年度に比べ、種数は同数で、個体数は813羽減少した（右図）。昨年度と比較して個体数の変化が大きかった種は、マガモ（533羽減）、コガモ（246羽減）などであった。

当調査地の記録個体数は、平成3、4年度には4,000羽を上回っていたが、平成5年度以降の平均は2,100羽程度である。最近では平成17年度に3,308羽を記録した後、減少傾向が続いている。これは、この池の代表種であるマガモの減少が大きく影響している。

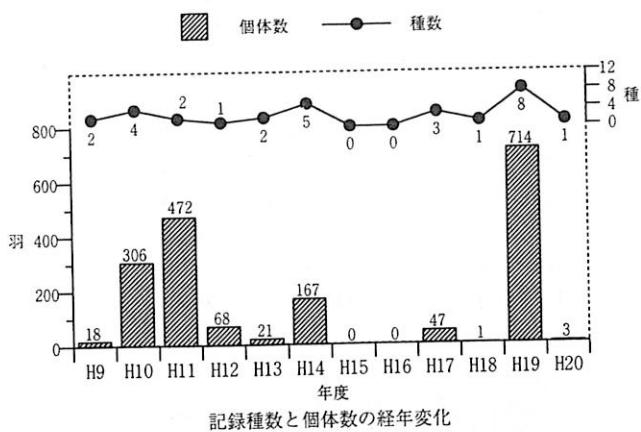
また当調査地は、9 haとさほど大きな池であるため、カモ類の密度は49羽/haと県内で最も高い水準にある。しかし、この密度も昨年（139羽/ha）と比べて大きく減少している。



## 【九頭竜川河口域】

1種3羽のガンカモ類が記録された（第1表）。昨年度に比べ、種数は7種減少し、個体数は711羽減少した（右図）。昨年度と比較して個体数の変化が大きかった種は、マガモ（409羽減）、カルガモ（135羽減）、コガモ（130羽減）などであった。

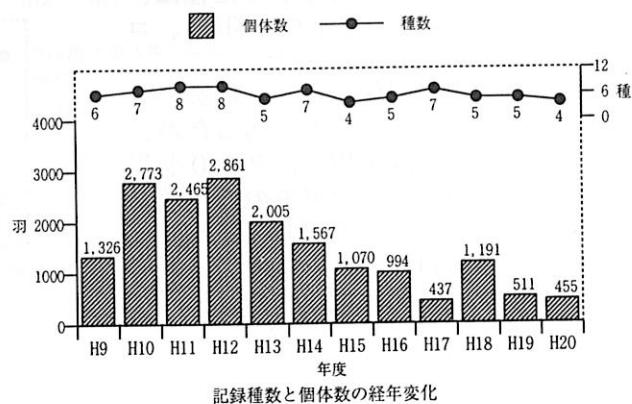
当調査地では昨年河川工事が完了し、記録種数、個体数とも増加したが、平成20年度には再び減少した。また当調査地は、県内でのヒシクイの主な渡来地となっており、例年、採餌や休息などの群が確認されているが、調査日には群れは確認されなかった。



## 【九頭竜川中流域】

4種455羽のガンカモ類が記録された（第1表）。昨年度に比べ、種数は1種減少し、個体数は56羽減少した（右図）。昨年度と比較して個体数の変化が大きかった種は、コガモ（156羽増）、マガモ（113羽減）、カルガモ（102羽減）などであった。

当調査地の記録個体数は、平成2年度（4,840羽）をピークに、減少傾向が続いている。また記録種数も、年変動はあるものの減少傾向にある。

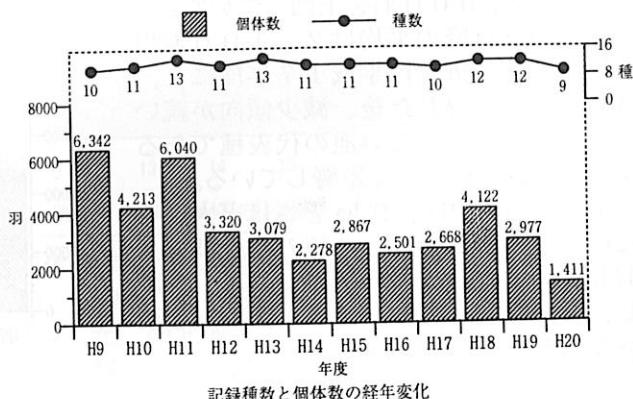


## 【日野川】

9種1,411羽のガンカモ類が記録された（第1表）。昨年度に比べ、種数は3種減少し、個体数は1,566羽減少した（右図）。昨年度と比較して個体数の変化が大きかった種は、マガモ（693羽減）、カルガモ（335羽減）、コガモ（208羽減）などであった。

当調査地の記録個体数は、平成11年度以前は調査地間で最も多く、平成5年度には6,490羽を記録した。しかし平成12年度以後の平均個体数は2,800羽程度であり、以前と比べて少なくなっている。

この調査地では、コハクチョウが平成10年度を除き、平成6年度から連続して確認されており、その個体数は近年増加傾向にある。

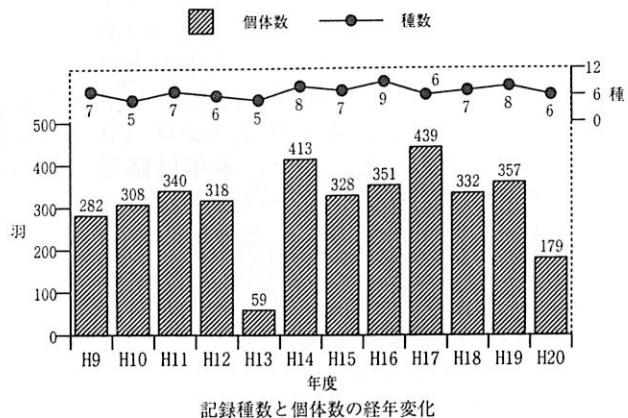


## 【猪ヶ池】

6種179羽のガンカモ類が記録された（第1表）。昨年度に比べ、種数は2種減少し、個体数は178羽減少した。昨年度と比較して個体数の変化が大きかった種はマガモで、180羽減少した（右図）。

当調査地の記録個体数は、ときどき極端に少ない年があるものの、おおむね300羽程度の水準にある。

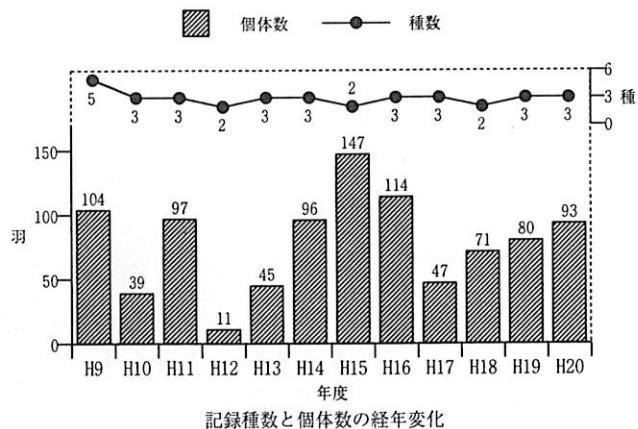
またこの調査地では、オシドリが平成8年度に56羽記録されて以降減少しており、平成18、19年度には続けて確認されなかつたが、本年度は5羽確認された。



## 【阿原ヶ池】

3種93羽のガンカモ類が記録された（第1表）。昨年度と比較して、種数は同数で、個体数は13羽増加した（右図）。昨年度と比較して個体数の変化が大きかった種はコガモで、12羽増加した。またオシドリは、3年続けて確認されなかつた。

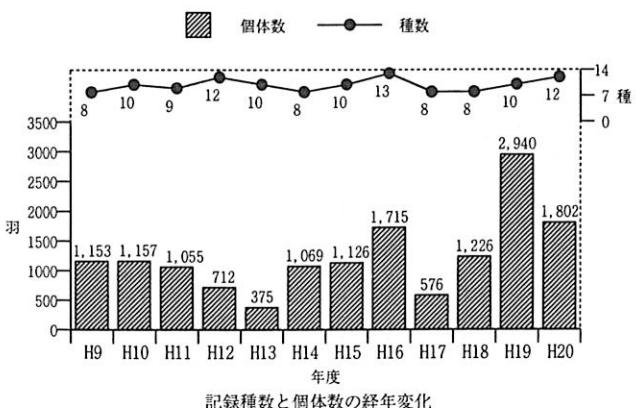
当調査地は、積雪の影響を大きく受けるため、毎年の記録個体数は不安定であるが、流水や湧水により水面が確保されていることと林により身を隠せるなどのことによりカモ類が確認されなかつた年はない。



## 【久々子湖】

12種1,802羽のガンカモ類が記録された（第1表）。昨年度に比べ、種数は2種増加し、個体数は1,138羽減少した（右図）。昨年度と比較して個体数の変化が大きかった種は、キンクロハジロ（495羽減）、ホシハジロ（206羽減）、スズガモ（196羽減）などであった。

当調査地の記録個体数は、平成6年度から13年度まで連続して減少した。平成14年度以降の個体数は、500羽～3,000羽程度と大きく変動している。久々子湖は周辺の開発が三方五湖の中でも最も進んでおり、その因果関係を含め個体数の今後の変化が注目される。



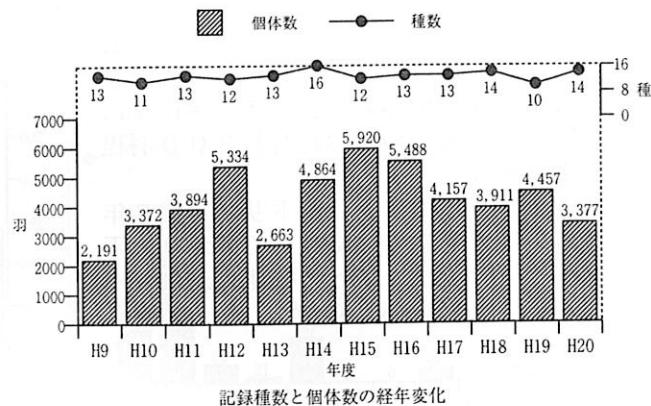
## 【菅 湖】

14種3, 377羽のガンカモ類が記録された（第1表）。昨年度に比べ、種数は4種増加し、個体数は1,080羽減少した（右図）。昨年度と比較して個体数の変化が大きかった種は、マガモ（1,006羽減）、ヒドリガモ（139羽減）、キンクロハジロ（94羽増）などであった。また、本年は降雪により湖面の1/6がシャーベット状になったことからマガモが減少したものと考えられる。

当調査地の記録種数は、平成4年度から全調査地のなかで常に上位に位置していたが、本年度は1位の記録となった。

当調査地の記録個体数は、優占するマガモの個体数変化の影響を強く受けており、過去3年は4,000羽近くで安定していたが本年度は減少した。なお、潜水カモ類のスズガモ、キンクロハジロが平成8年度以降減少傾向にある。潜水カモ類の個体数は、平成14年度には増加したもの、以後6年連続して個体数は少ない。

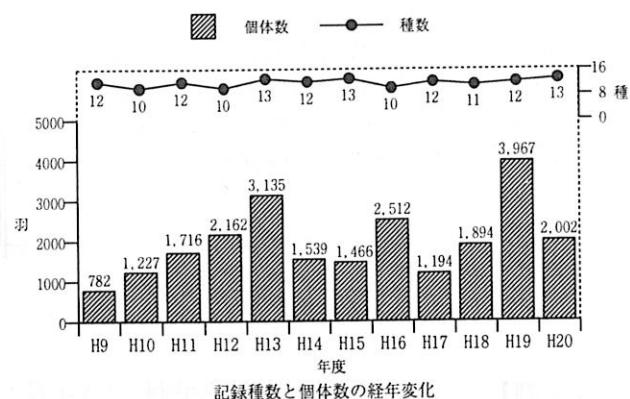
またコハクチョウは、平成18年度に当調査地で昭和61年度以降初確認となったが、本年は記録されなかった。しかし、近隣で試行されている「ふゆみずたんぽ」では、コハクチョウ20羽とマガモ2羽の飛来が確認されている。



## 【三方湖】

13種2, 002羽のガンカモ類が記録された（第1表）。昨年度に比べ、種数は1種増加し、個体数は1,965羽減少した（右図）。昨年度と比較して個体数の変化が大きかった種は、カルガモ（1,275羽減）、コガモ（422羽減）、マガモ（243羽減）などであった。

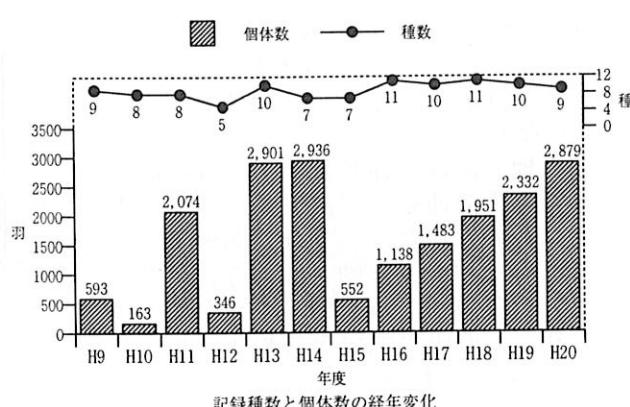
当調査地の記録個体数は、長期的には増加傾向にあるものの、年変動の振幅も大きく不安定である。



## 【水月湖】

9種2, 879羽のガンカモ類が記録された（第1表）。昨年度に比べ、種数は1種減少し、個体数は547羽増加した（右図）。昨年度と比較して個体数の変化が大きかった種は、マガモ（738羽増）、カルガモ（124羽増）、キンクロハジロ（135羽減）などであった。

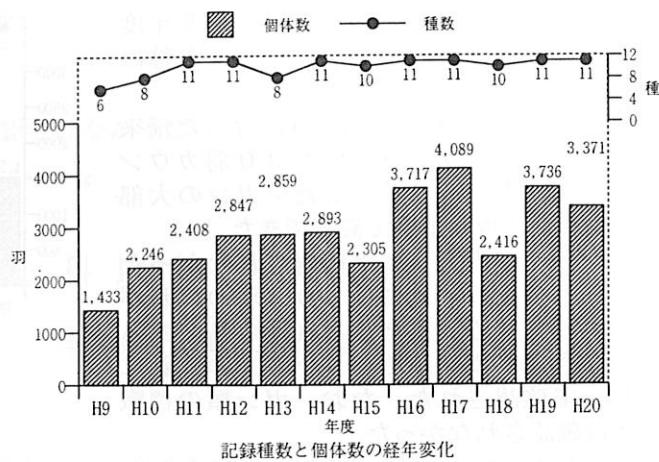
当調査地の記録個体数は、平成14年度に昭和61年度以降の最高値を記録したが、平成15年度に大きく減少した。平成15年度以降は、増加傾向にある。



## 【小浜湾】

11種3,371羽のガンカモ類が記録された（第1表）。昨年度に比べ、種数は同種で、個体数は365羽減少した（右図）。昨年度と比較して個体数の変化が大きかった種は、マガモ（325羽減）、スズガモ（99羽減）、コガモ（75羽増）などであった。

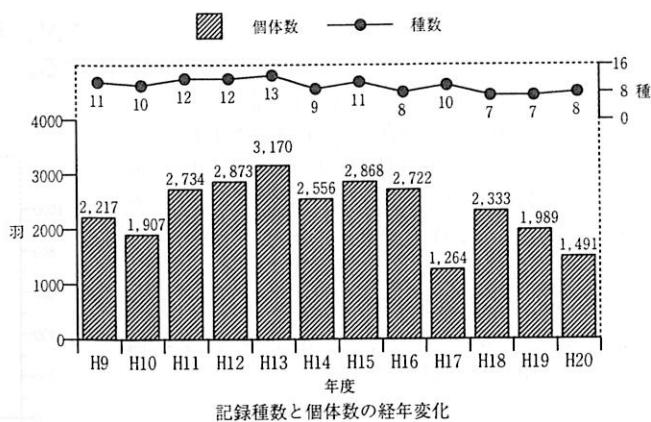
当調査地の記録個体数は、長期的には増加傾向にある。昨年度に引き続き、本年度の記録個体数も3,000羽を超えた。



## 【足羽川】

8種1,491羽のガンカモ類が記録された（第1表）。昨年度に比べ、種数は1種増加し、個体数は498羽減少した（右図）。昨年度と比較して個体数の変化が大きかった種は、カルガモ（221羽減）、ヒドリガモ（299羽減）、マガモ（68羽増）などであった。

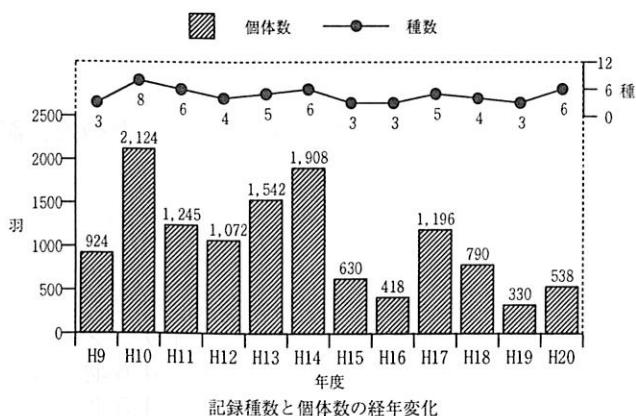
当調査地は、ハシビロガモやカワアイサの県内の主要な渡来地になっている。しかし本年度はカワアイサは記録されたものの、ハシビロガモは確認されなかった。当調査地におけるハシビロガモの個体数は、平成8年度以降減少傾向にあり、平成15年度以降は連続して確認されていない。



## 【福井新港】

6種538羽のガンカモ類が記録された（第1表）。昨年度に比べ、種数は3種増加し、個体数は208羽増加した（右図）。昨年度と比較して個体数の変化が大きかった種は、マガモ（238羽増）、カルガモ（103羽減）などであった。

福井新港では近年船舶の入港数が増加し、1～2隻が港中央部に停泊もしくは作業を行っていることが多くなった。この人的攪乱が、カモ類の個体数の減少に影響を与えているものと考えられる。



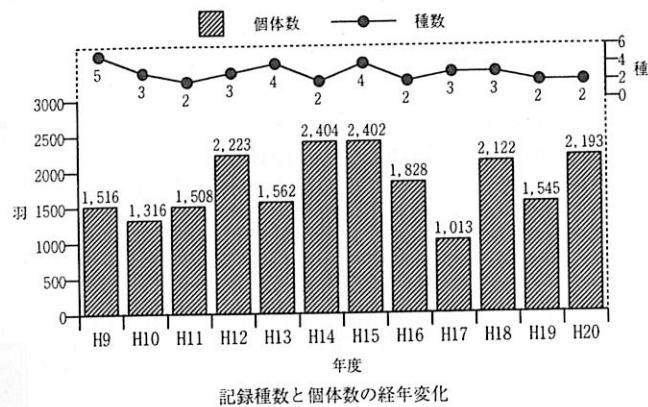
## 【坂井平野】

2種2、193羽のガン類が記録された(第1表)。昨年度に比べ、種数は同種で、個体数は648羽増加した(右図)。昨年度と比較して個体数の変化が大きかった種はマガソで、652羽増加した。

北潟湖畔で7:00~8:00に行った飛来数調査では、マガソが約2,230羽カウントされた。本年度は飛來したマガソの大部分について、坂井平野で確認できた。

ヒシクイは調査日には確認されなかったものの、調査日前日には103羽の群れが確認されている。また、まれな冬鳥であるシジュウカラガソが1羽、マガソの群れに混じって確認された。なお、ガン類の標識個体は確認されなかった。

コハクチヨウは、ガン類の飛來数調査の際に、北潟湖に隣接した水田で62羽が記録された。一方、九頭竜川以西の区域では、水田の基盤整備工事のため「ふゆみずたんぼ」が減少しており、コハクチヨウが定着しにくくなっている。

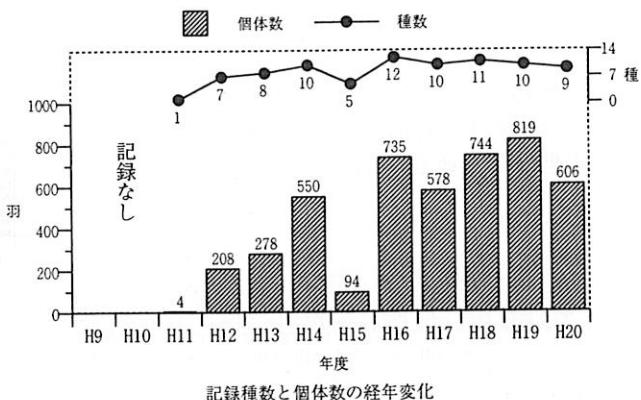


## 【九頭竜川中上流域】

平成17年度から調査地となった調査地であるが、平成11年度から日本野鳥の会福井県支部で独自に調査が行われており、その調査結果と比較する。

9種606羽のガンカモ類が記録された(第1表)。昨年度に比べ、種数は1種減少し、個体数は213羽減少した(右図)。昨年度と比較して個体数の変化が大きかった種は、マガモ(308羽減)、ヒドリガモ(125羽増)などであった。

当調査地の記録個体数は平成15年度までは不安定であったが、平成16年度以降は700羽前後で安定している。



指定調査地以外の地域でも調査を実施したので、記録を参考までに掲げておく。

## 【九頭竜川上流域】

1月13日に、4種168羽が記録された。

<大野市 九頭竜ダム> カワアイサ 2羽

<大野市 仏原ダム> マガモ 46羽、カルガモ 41羽、カワアイサ 1羽

<大野市 驚ダム> マガモ 45羽、カルガモ 27羽、カワアイサ 1羽

<その他> (和泉村下山付近の九頭竜川にて コガモ 2羽、カワアイサ 3羽)

### 【鯖江市 河和田川】

1月8日に、1種8羽が記録された。  
オシドリ オス 2羽 メス 6羽

### 【敦賀市 中池見】

1月11日に調査を行ったが、カモ類は確認されなかった。

## 3. ガンカモ科以外の鳥類

ガンカモ科の鳥類以外に、計11目27科62種が記録された（第2表）

## 4. 過去における結果の集計

今回の委託調査にあたり、昭和44年度以降、福井県内で実施された調査資料を年度別に集計し、対比し参考とする（第3表、第3図、第4図）。

# ガンカモ科鳥類生息調査事業実施要領

## 1. 目的

本事業は、福井県内に渡来するガンカモ科の渡来状況に関する基礎資料を収集し、鳥獣保護行政に資するため実施する。

## 2. 調査実施者

本事業は、日本野鳥の会福井県支部に委託して実施するものとする。

## 3. 調査地

調査地は、別紙参照で省略する。

## 4. 調査方法

調査は、それぞれの調査地に定点及びルートを設けて、その地域に生息するガンカモ科鳥類の種類別渡来数及び生息状況等について行うものとする。

## 5. 調査期日

平成21年1月11日(日)および18日(日)とする。ただし、天候または調査員の都合により同日における調査が不可能な場合は、1月6日から18日の間に実施して差し支えない。

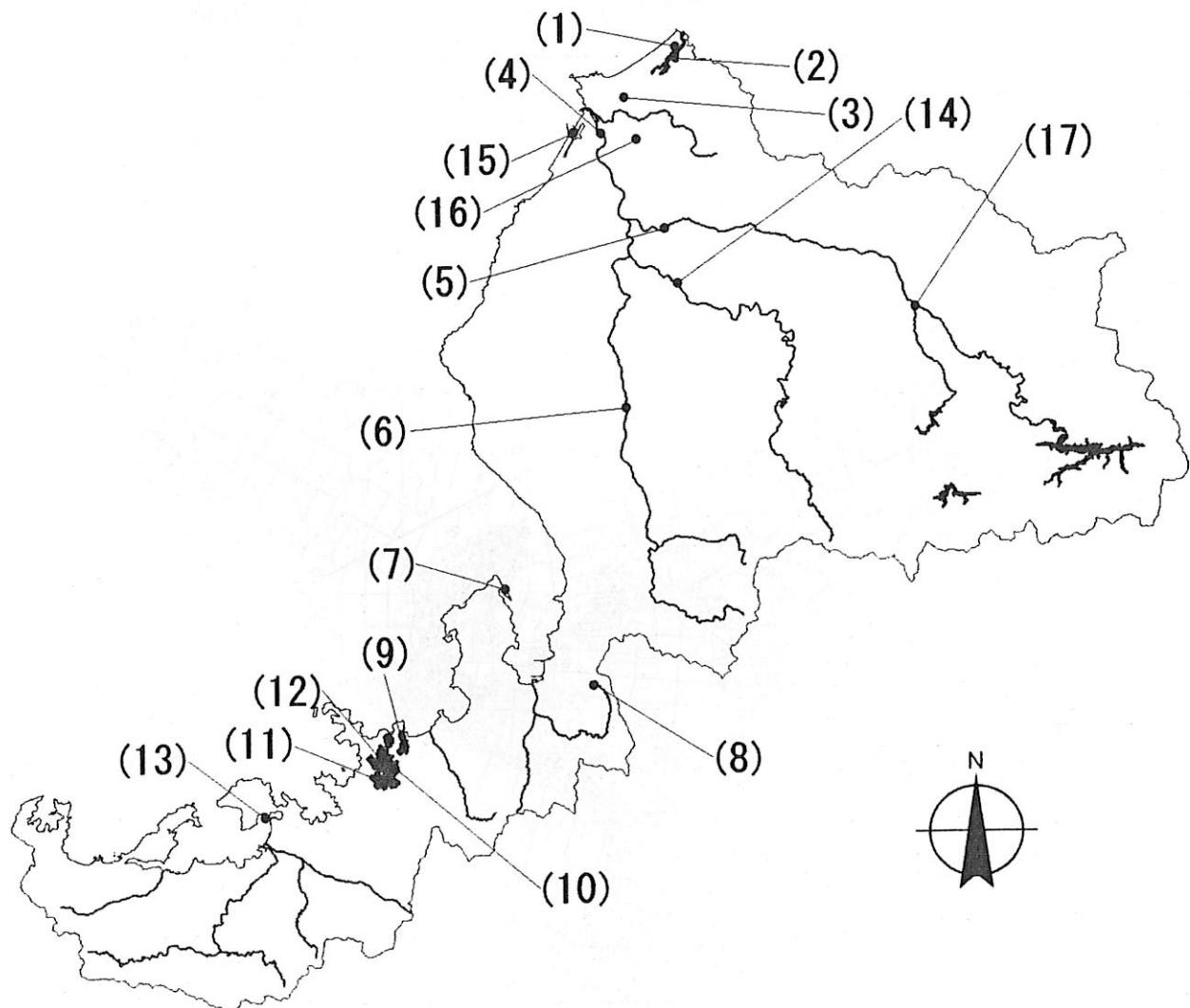
調査時間帯は、ガンカモ科鳥類の渡来数の最も安定する午前中とする。

第6項、7項については省略する。

第1図

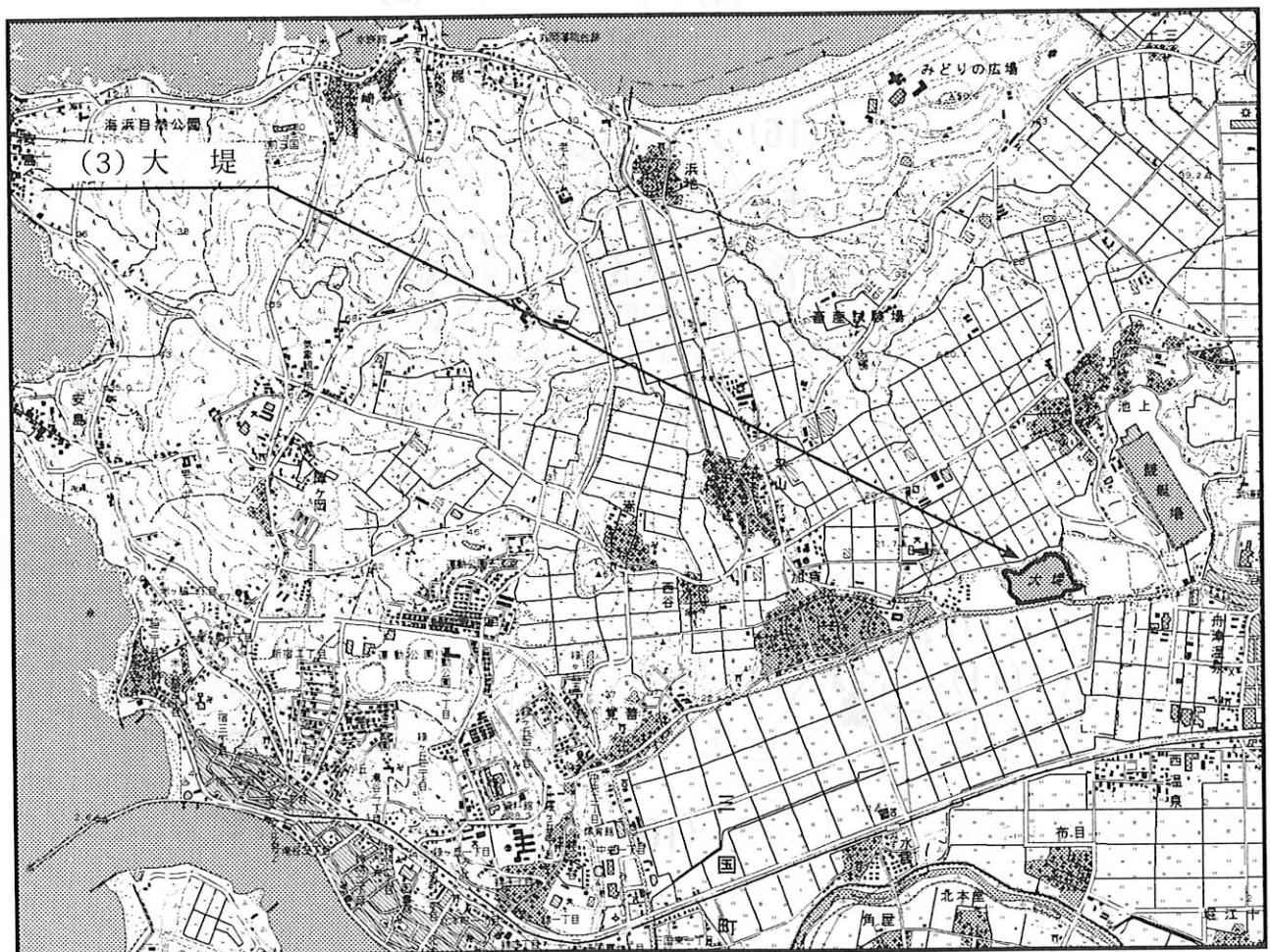
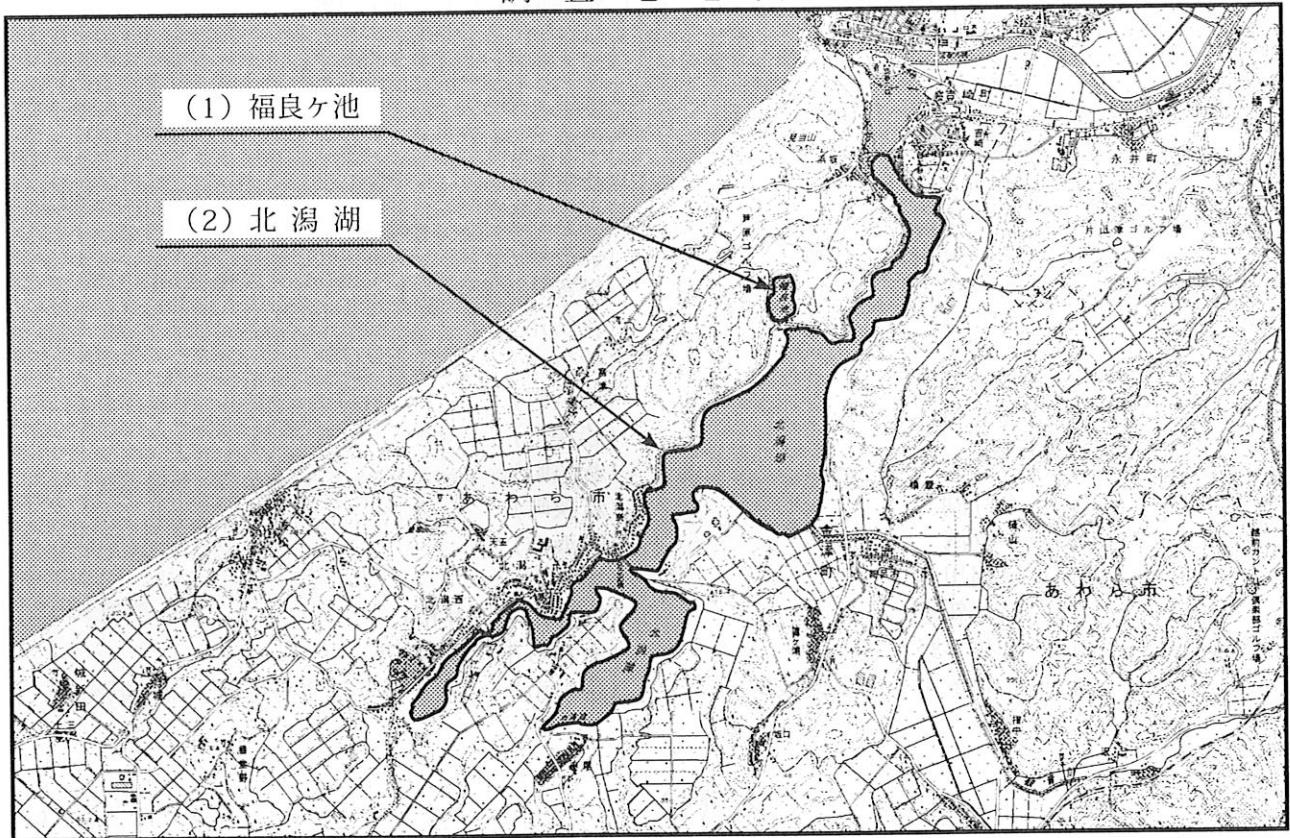
平成20年度 ガンカモ科鳥類生息調査地

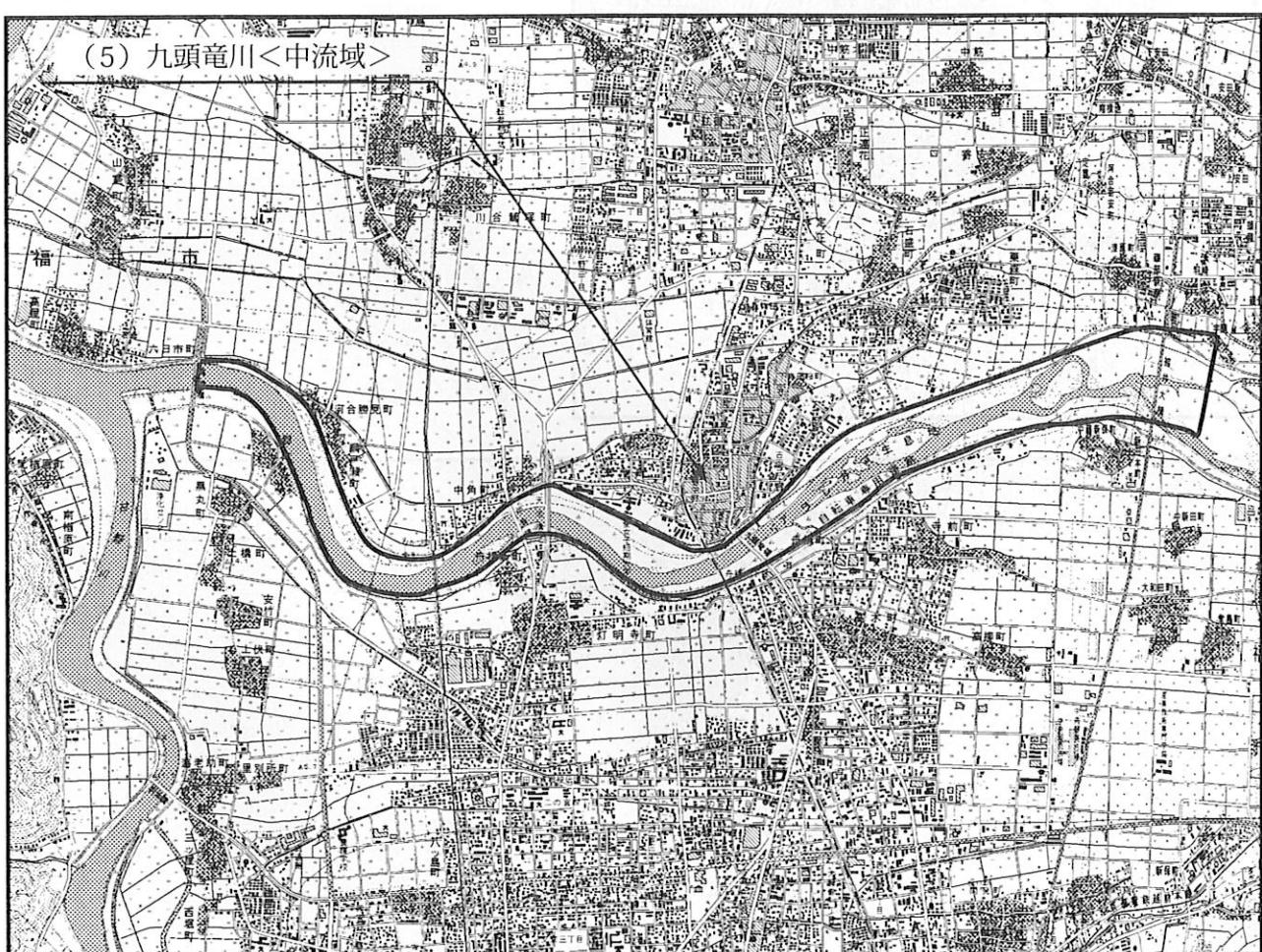
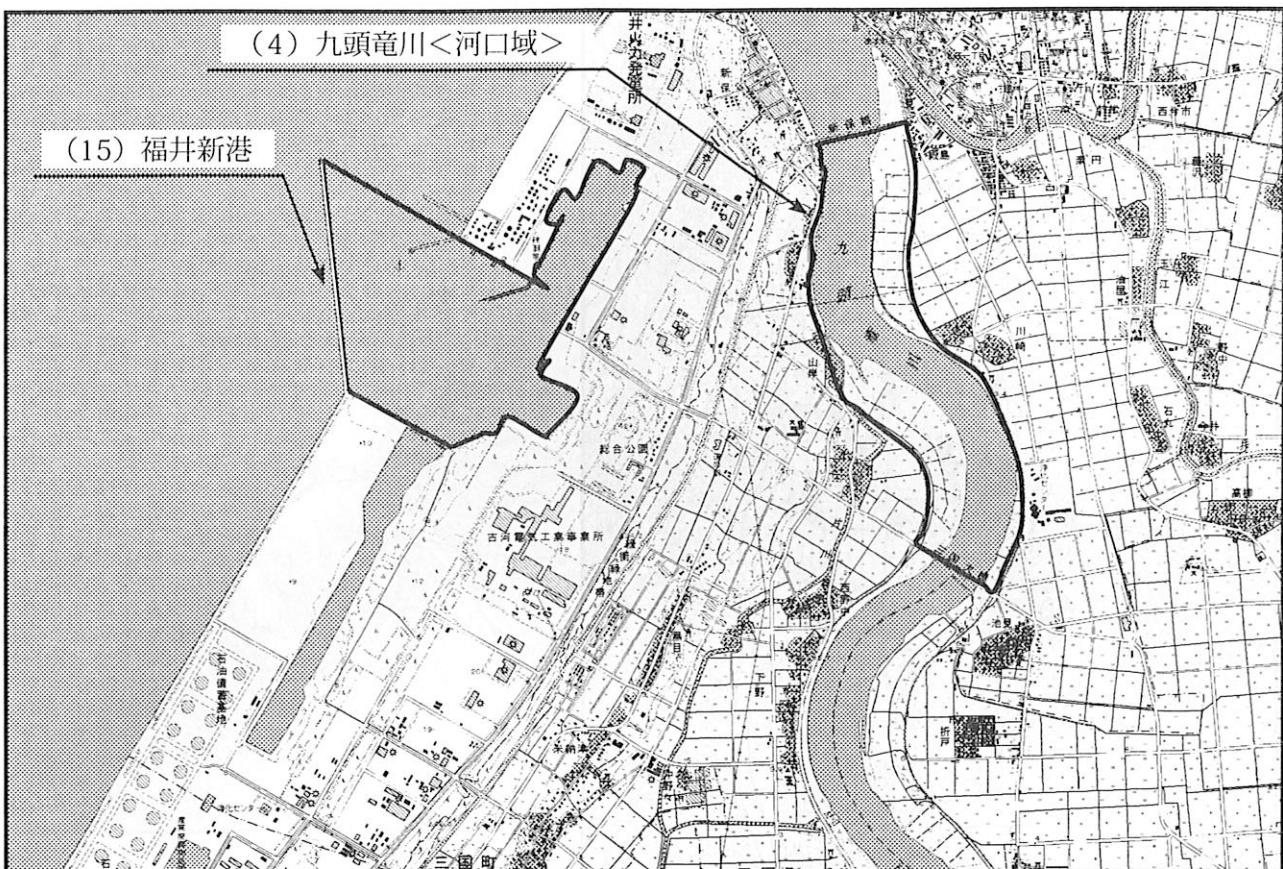
- |                 |            |
|-----------------|------------|
| ( 1) 福良ヶ池       | (あわら市)     |
| ( 2) 北潟湖        | (あわら市)     |
| ( 3) 大堤         | (坂井市)      |
| ( 4) 九頭竜川<河口域>  | (坂井市)      |
| ( 5) 九頭竜川<中流域>  | (福井市)      |
| ( 6) 日野川        | (越前市・鯖江市)  |
| ( 7) 猪ヶ池        | (敦賀市)      |
| ( 8) 阿原ヶ池       | (敦賀市)      |
| ( 9) 久々子湖       | (美浜町)      |
| (10) 菅湖         | (若狭町)      |
| (11) 三方湖        | (若狭町)      |
| (12) 水月湖        | (若狭町)      |
| (13) 小浜湾        | (小浜市)      |
| (14) 足羽川        | (福井市)      |
| (15) 福井新港       | (福井市・坂井市)  |
| (16) 坂井平野       | (あわら市・坂井市) |
| (17) 九頭竜川<中上流域> | (勝山市)      |

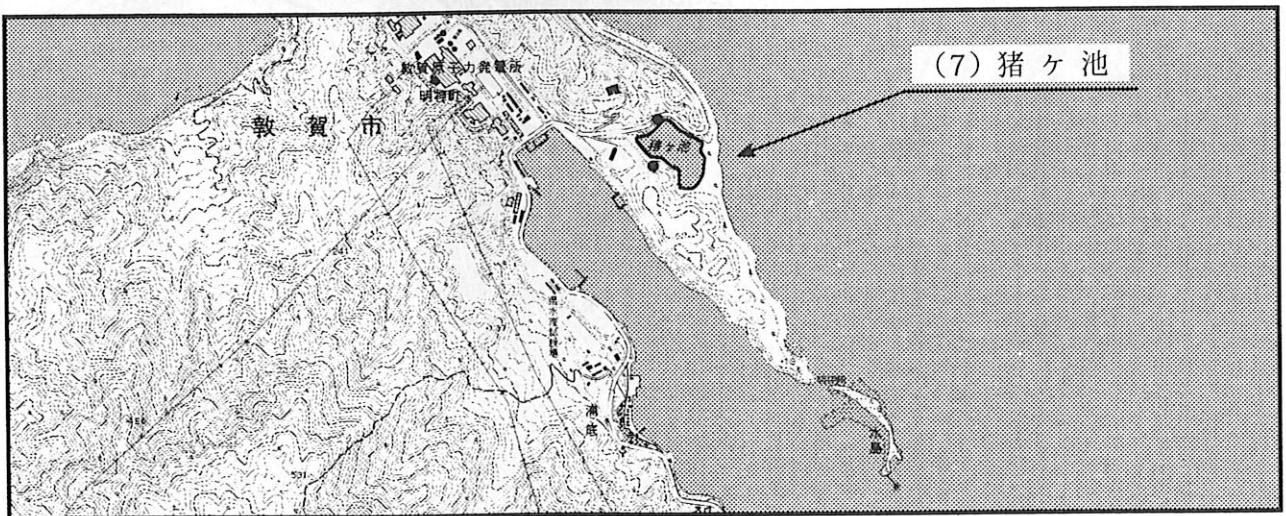
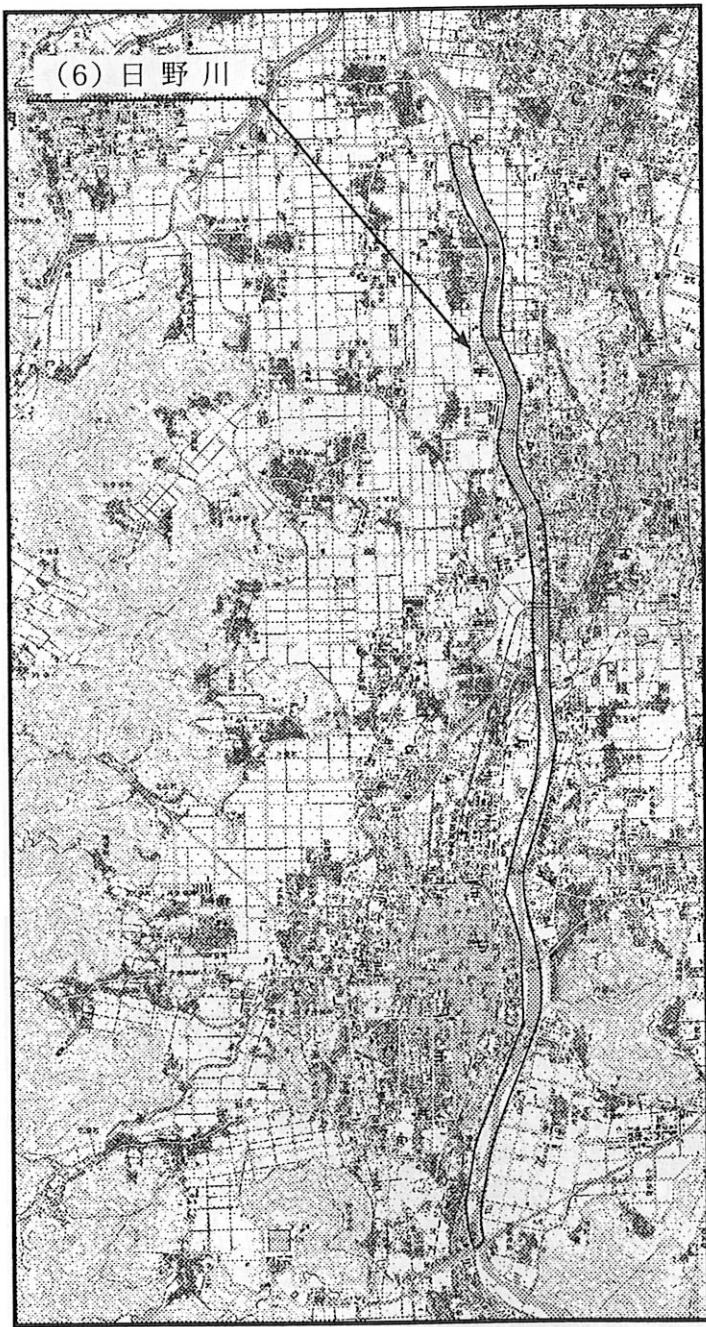


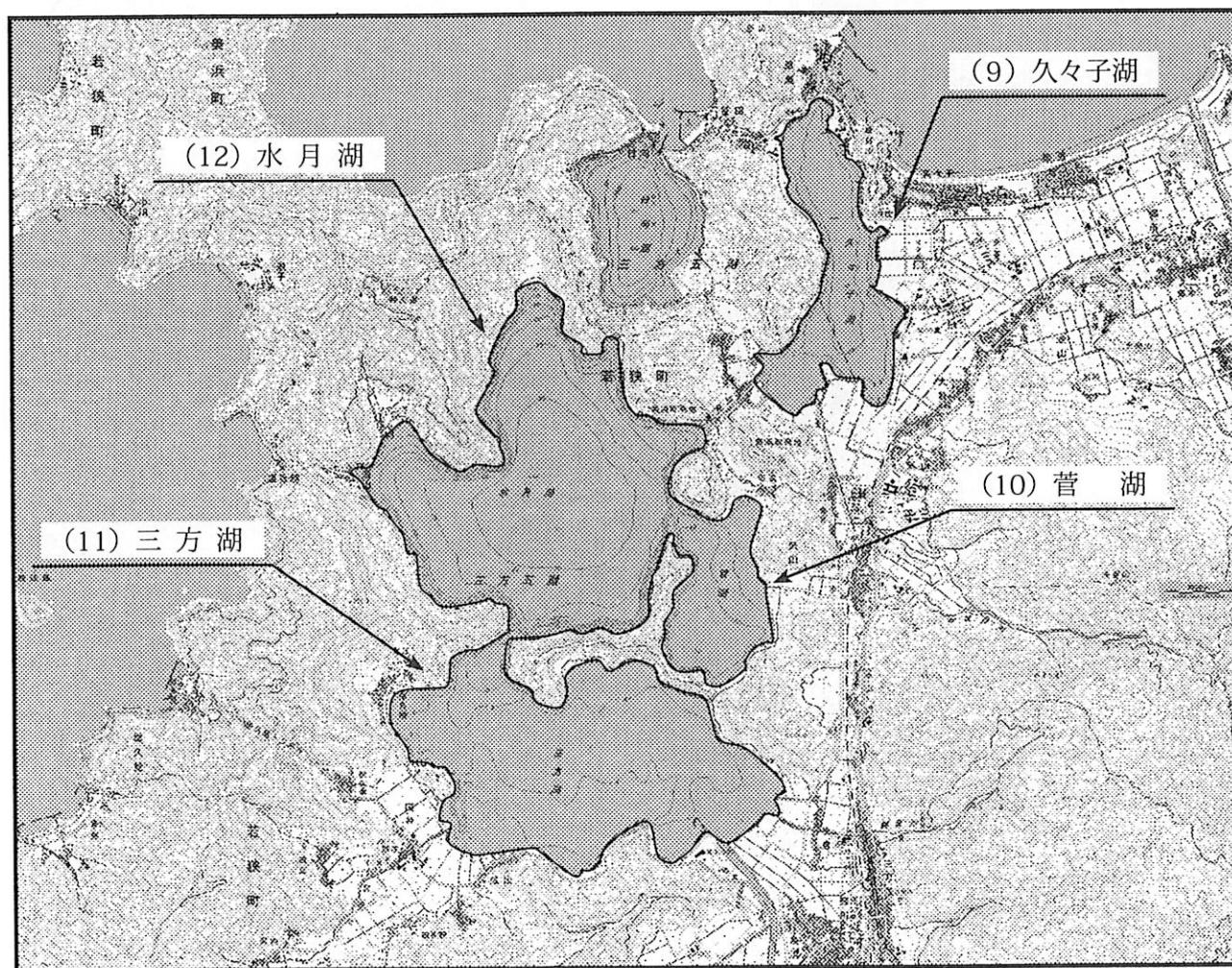
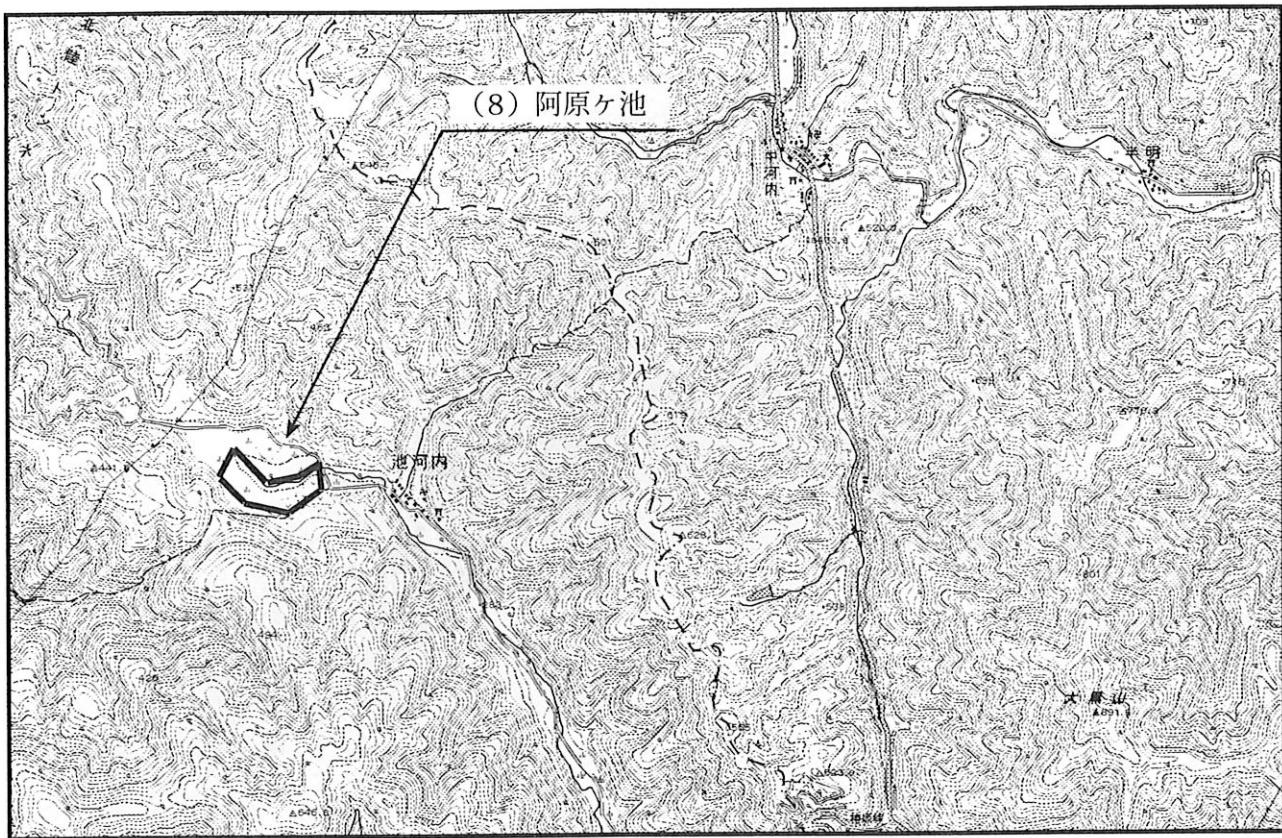
第2図

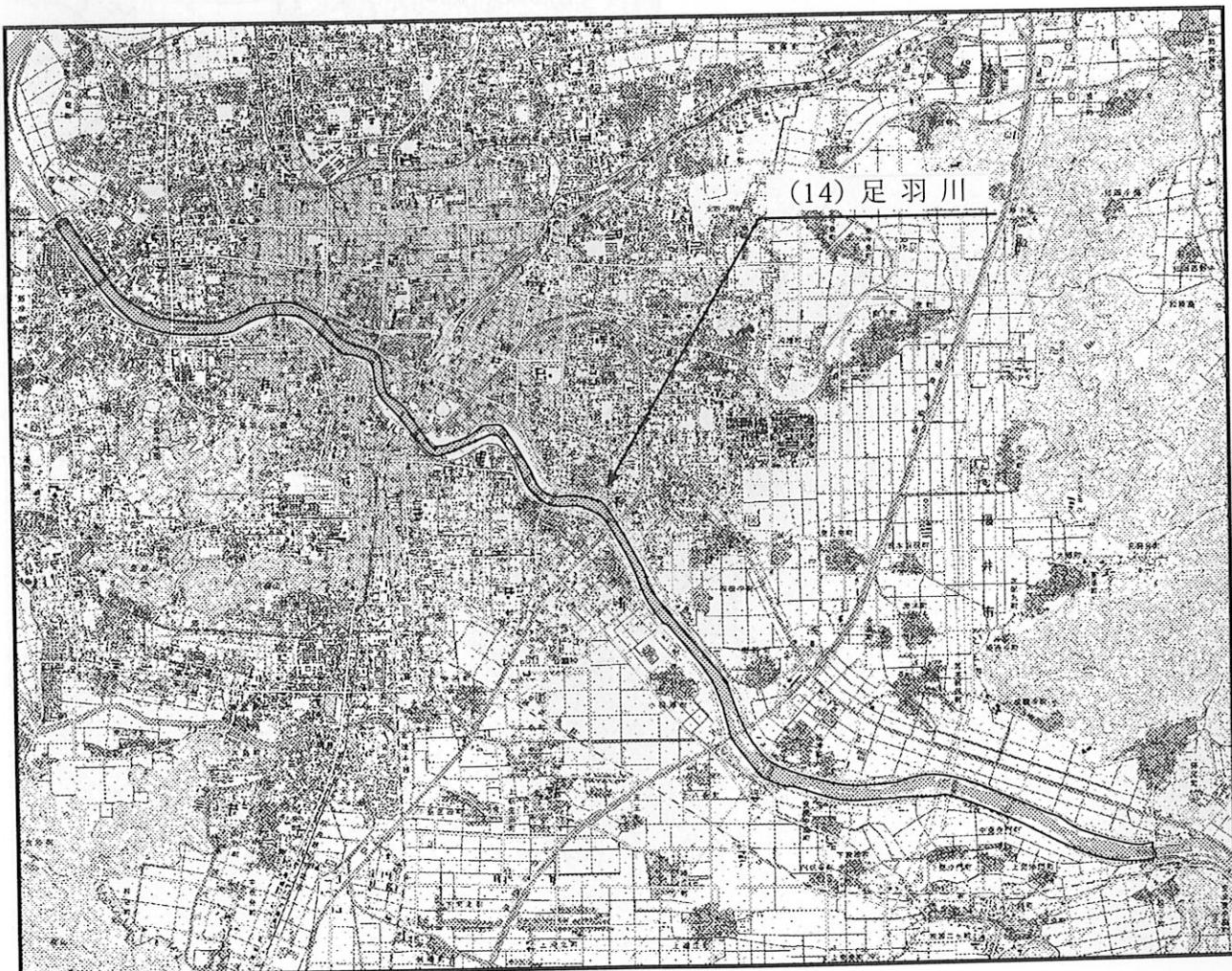
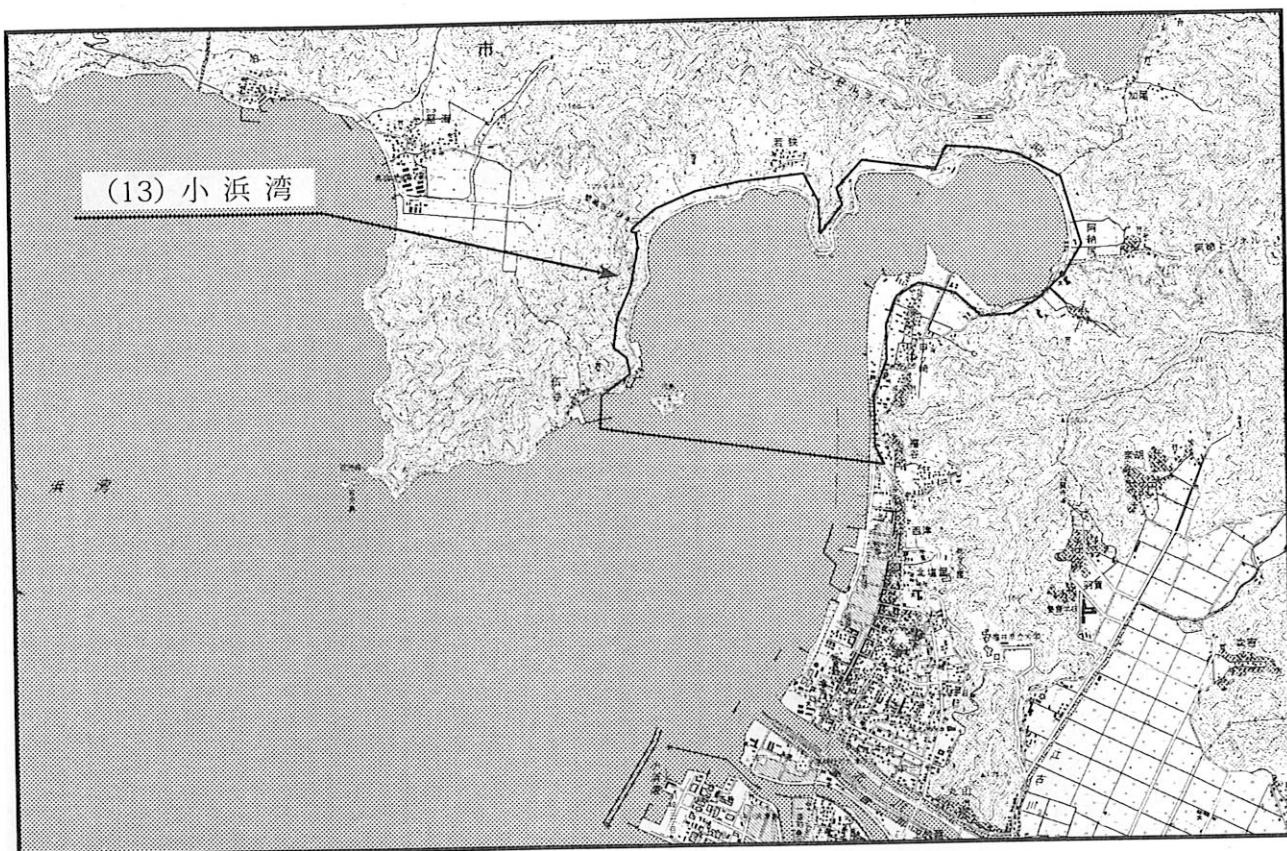
調査地地図

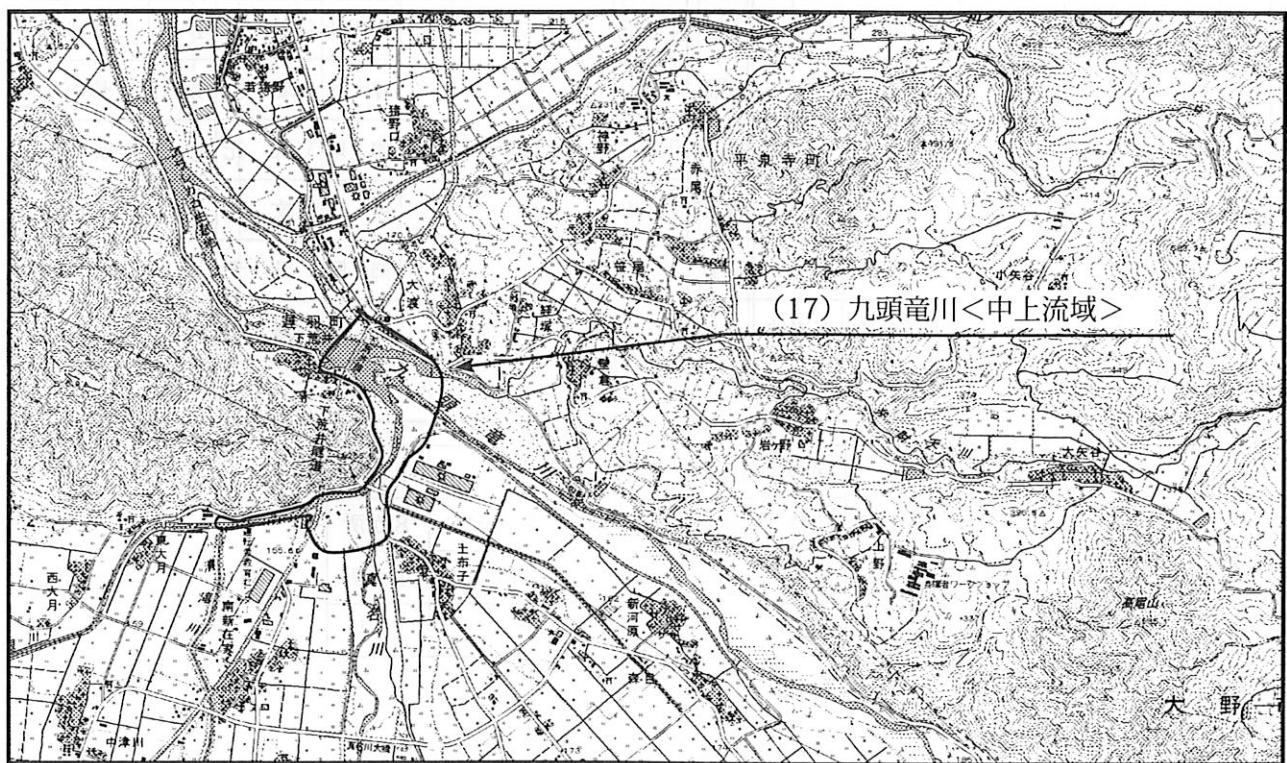
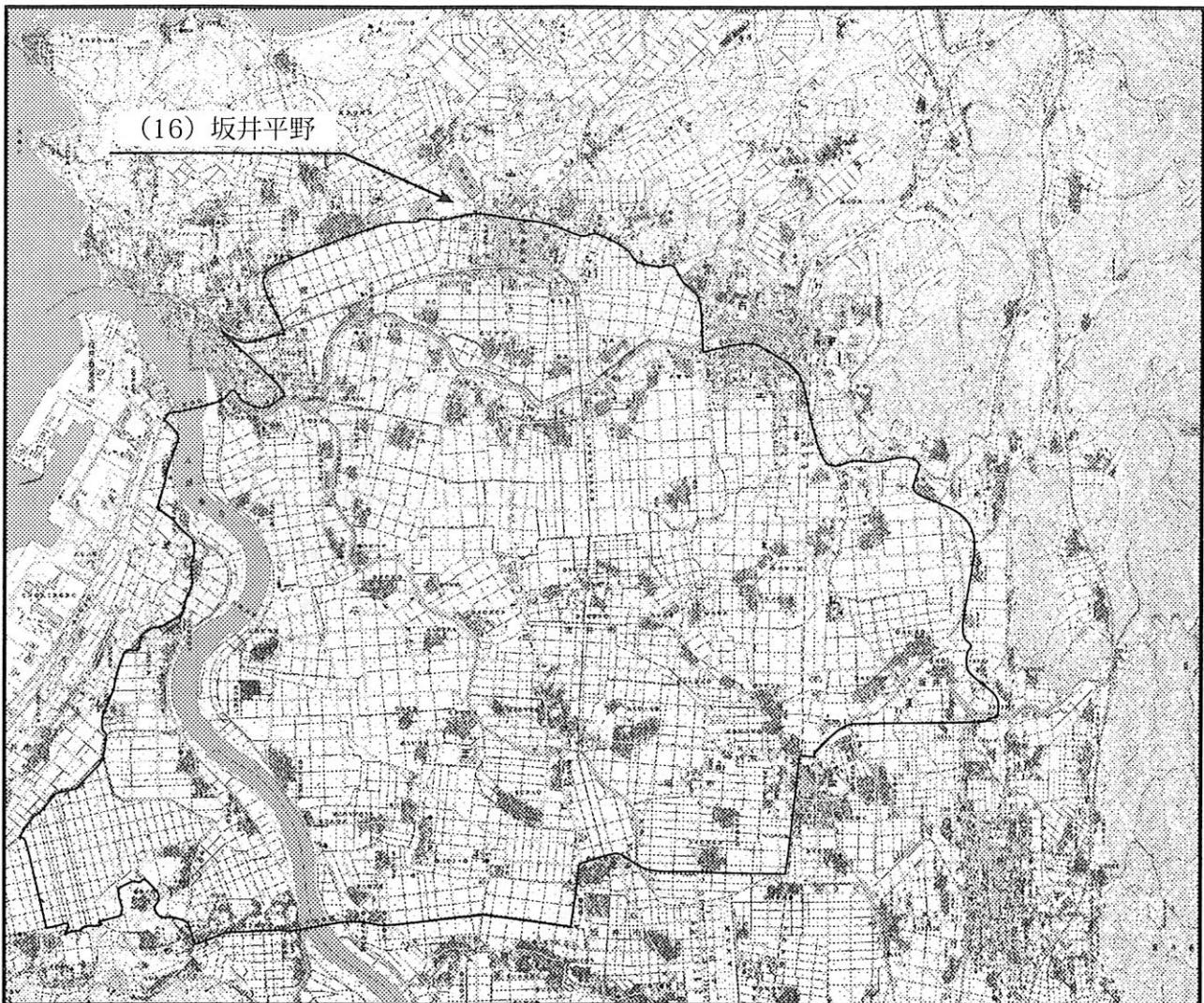












第1表

## 調査結果表

番号	調査地				調査面積 ha	鳥獣保護区等の区分	調査人員	調査員代表	調査月日	天候
	郡市	町村	地名	池況						
1	あわら市		福良ヶ池	池	3	銃禁	3	香川 正行	1/11	曇
2	々		北潟湖	湖沼	230	保護, 銃禁	3	組頭 五十夫	々	雪、みぞれ時々晴
3	々		大堤	池	9	保護	3	河野 文明	々	雪、曇り
4	々		九頭竜川河口流域	河川	20	その他	3	大橋 正明	1/18	曇
5	福井市		九頭竜川中流域	々	307	保護	7	土田 孝幸	1/11	雪
6	越前市・鯖江市		日野川	々	220	銃禁	11	納村 力	々	々
7	敦賀市		猪ヶ池	池	6	保護	3	吉田 一朗	々	々
8	々		阿原ヶ池	々	8	保護	3	横山 大八	々	曇
9	三方郡	美浜町	久々子湖	湖沼	140	保護	3	堀田 高久	々	雪後晴
10	三方上中郡	若狭町	菅湖	々	92	保護	3	小嶋 明男	々	曇
11	々	々	三方湖	々	358	保護	3	辻 義次	々	曇り一時晴
12	々	々	水月湖	々	423	保護	3	久保上 宗次郎	1/14	晴
13	小浜市		小浜湾	海面	650	銃禁	3	井尻 雅己	1/11	曇のち晴
14	福井市		足羽川	河川	100	銃禁	7	柳町邦光	々	曇時々雪
15	々		福井新港	海面	140	銃禁	3	鈴川 文夫	々	小雪
16	あわら市・坂井市		坂井平野	平野	7,200	銃禁(一部)	16	柳町邦光	1/18	晴
17	勝山市		九頭竜川中上流域	河川	38	銃禁, 休獵	3	宇野 竜司	1/11	雪
合 計					9,944		80			

内訳	保護：鳥獣保護区	9か所
	銃禁：特定獵具使用禁止区域（銃禁）	8か所
	休獵：休獵区	1か所
	その他：指定なし	1か所

(平成20年度ガンカモ科鳥類生息調査 実施日 平成21年1月11日、18日)

ガン類			カモ類															合計			
マガ ン	シジ ュウ カラ ガ ン	ハクチ ヨウ類	オシドリ	マガモ	カルガモ	コガモ	トモエガモ	ヨシガモ	オカヨシガモ	ヒドリガモ	オナガガモ	ハシビロガモ	ホシハジロ	キンクロハジロ	スズガモ	ホオジロガモ	ミコアイサ	カワアイサ	ウミアイサ		
230																		1	230		
232		33		677	263	144		38		239	5	2	11	32	2		2		13	1,680	
			1	219			82		60		74						6		6	442	
					3													1	3		
			106	162	181												6		4	455	
		5		703	192	316				179	5	2	4				5		9	1,411	
			5	122	23					10				12			7		6	179	
				18	8	67													3	93	
				222	406	52		19	61	1	10	417	579	24	6	5			12	1,802	
				2,883	1	16	54	2	57	75	43	19	9	192	21	2	3		14	3,377	
					805	187	467		98	11	147	19	4	161	87	1	14	1		13	2,002
					2,362	159	7		2	30	7		28	223	61				9	2,879	
		1	1,854	105	463	40	8		258	34	16	9		583					11	3,371	
					627	118	475		2	253	8						5	3		8	1,491
					332	26	4		4	171								1	6		538
2,192	1																		2	2,193	
					220	2	68		3	13	268		14	17				1		9	606
2,654	1	38	7	11,150	1,655	2,342	94	215	102	1,765	122	53	653	1,142	692	22	29	15	1	20	22,752

第2表

## ガンカモ科以外の鳥類

番号	場所 種名	福良ヶ池	北潟湖	大堤	九頭竜川河口域	九頭竜川中流域	日野川	猪ヶ池	阿原ヶ池	久々子湖	菅湖	三方湖	水月湖	小浜湾	足羽川	福井平野	坂井新港	九頭竜川中上流域	合計	
1	カイツブリ	1	4	1	2	2	12	2		1	7		5	1	5			4	47	
2	ハジロカイツブリ		2		1						5	6				1			15	
3	カンムリカイツブリ		3		2						5	6	8	8					32	
4	カワウ	1	53		4		49	14		3	12	6	12	2	16	15		1	188	
5	ダイサギ		1				6									1			8	
6	コサギ									1									1	
7	アオサギ	2	2				13	2		3	2	2	3	1	4		1	1	36	
8	ミサゴ		2		1					2	2	1	2	1			1		12	
9	トビ		3			2	6			32	10	16	19	10		2	2	2	104	
10	オジロワシ		1										2						3	
11	オオワシ												1						1	
12	オオタカ						5								1				6	
13	ノスリ	1				3	7			2	1		2		3	1			20	
14	ハヤブサ						1			1					1				3	
15	チョウゲンボウ													1			1		2	
16	キジ						3								2				5	
17	バン						1											1	2	
18	オオバン		3	1	9		2	22		101	122	93	89	1				3	446	
19	イカルチドリ						3												3	
20	ケリ	8														1			9	
21	タゲリ									2					2	1			5	
22	イソシギ									1				5					6	
23	セグロカモメ									3	2	4		1					10	
24	オオセグロカモメ											1							1	
25	カモメ															4			4	
26	キジバト					16	42							5	1	4			1	69
27	アオバト								2										2	
28	カワセミ	1					2								4				7	
29	アオゲラ								1										1	
30	アカゲラ								1										1	
31	コゲラ								3		2								1	
32	ハクセキレイ		2											1		3	2		8	
33	セグロセキレイ	3					10	1		4	3		2	2	7	2	3		37	
34	タヒバリ									1		1							2	
35	ヒヨドリ		3			2	13	4	20	5	5	5	32	1	25			3	118	
36	モズ						3	10		1		1			1	9			25	
37	カワガラス																	2	2	
38	ルリビタキ								1										1	
39	ジョウビタキ	1					2		1	1	2		2	1				2	12	
40	イソヒヨドリ													3					3	
41	シロハラ		1					2	3	2	2	3	3	1	2				19	
42	ツグミ		22		2		72	3	19	2	3	8	5	3	94		12	8	253	
43	ウゲイス							1		1		2			3			1	8	
44	エナガ							7		12					1	36			56	
45	コガラ									2									2	

番号	種名	場所		福良ヶ池	北潟湖	大堤	九頭竜川河口域	九頭竜川中流域	日野川	猪ヶ池	阿原ヶ池	久々子湖	菅湖	三方湖	水月湖	小浜湾	足羽川	福井平野	坂井新港	九頭竜川中上流域	合計
		福良ヶ池	北潟湖	大堤	九頭竜川河口域	九頭竜川中流域	日野川	猪ヶ池	阿原ヶ池	久々子湖	菅湖	三方湖	水月湖	小浜湾	足羽川	福井平野	坂井新港	九頭竜川中上流域	合計		
46	シジュウカラ						7	1	5	6	5	5		1	4				34		
47	メジロ							1			3		4	8					16		
48	ホオジロ	1					29			6	12	10	13		38		3	4	116		
49	カシラダカ				5	10	331			7	5				27				385		
50	ミヤマホオジロ								3		6								9		
51	アオジ						2			1	2				10	1			16		
52	アトリ		27				259									60	1		25	372	
53	カワラヒワ						24									137		23	2	186	
54	ベニマシコ						7									5				12	
55	イカル						1													1	
56	シメ						42			1						14				57	
57	スズメ		200				135							8	100	38			51	532	
58	ムクドリ														2	67		32		101	
59	カケス								1											1	
60	ミヤマガラス																	12		12	
61	ハシボソガラス		10				13	1		5	4		4		27	1	32	6	103		
62	ハシブトガラス						7		2	4		5	7	5				2	32		
	合計	19	339	2	26	38	1,124	53	78	197	225	172	228	173	636	29	122	125	3,586		

第3表

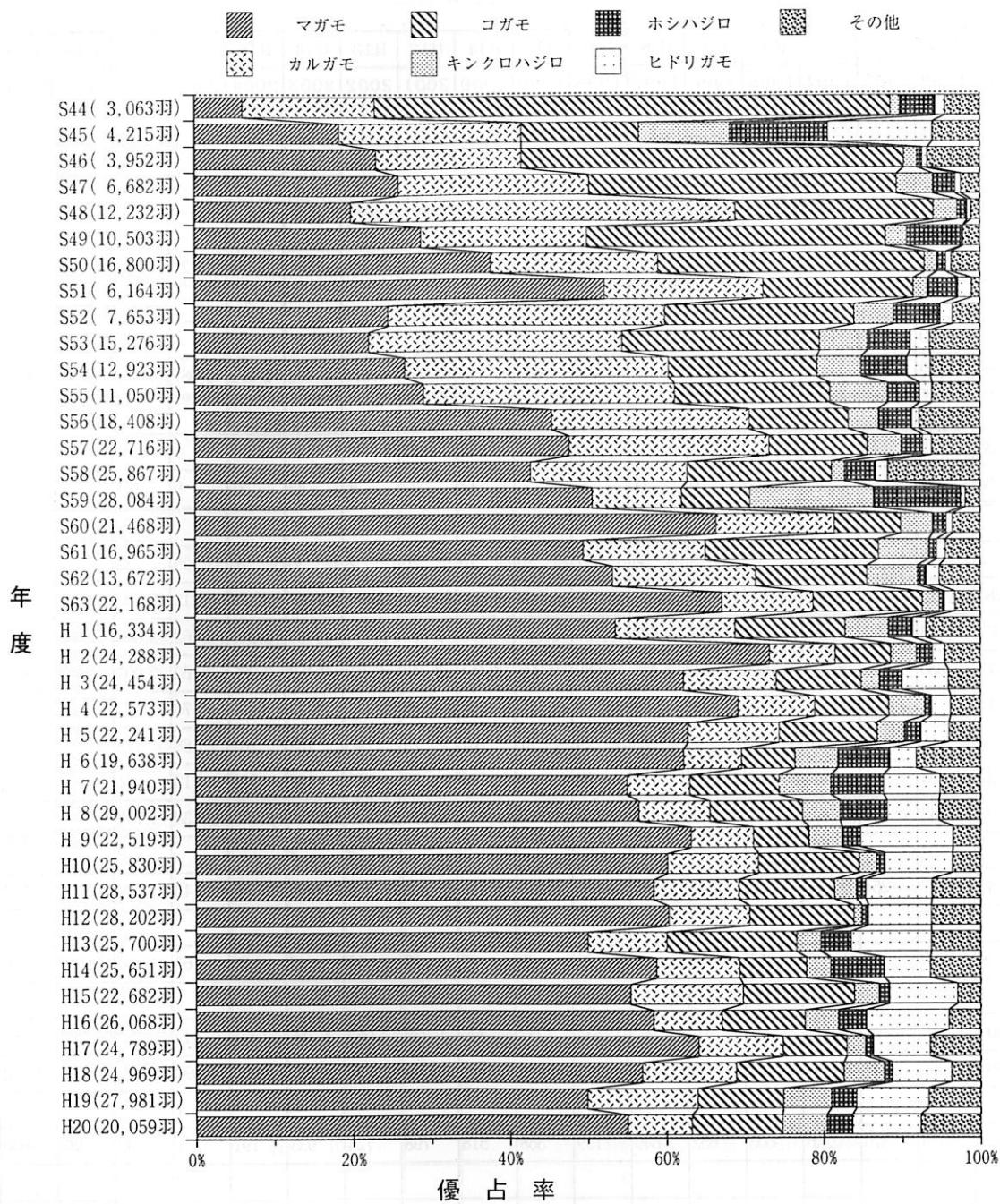
## ガンカモ科鳥類生息調査年度別集計表

種名	年度	S44	S45	S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62
	調査実施年	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988
1 シジュウカラガン																				
2 コクガン																				
3 マガソ		130							8				203					2	260	2
4 カリガネ																				
5 ヒシクイ																		133	18	
6 ハクガソ																				
不明種						58					30			1						
小計		130				58			8		30		203	1			135	278	2	
7 オオハクチョウ																				3
8 コハクチョウ	4					1											1	4		
小計	4					1											1	4	3	
9 アカツクシガモ							1													
10 オシドリ	18	168	100	50	51	51	84	33	48	110	65	64	18	15	84	28	45	37	17	
11 マガモ	187	776	915	1,736	2,436	3,033	6,345	3,220	1,887	3,394	3,643	3,226	8,375	10,842	11,059	14,232	14,254	8,402	7,282	
12 カルガモ	516	980	731	1,625	5,994	2,219	3,573	1,245	2,695	4,930	4,338	3,531	4,629	5,775	5,162	3,175	3,231	2,624	2,485	
13 コガモ	2,012	631	1,923	2,612	3,082	3,989	5,700	1,178	1,845	3,839	2,447	2,186	2,320	2,842	4,762	2,457	1,815	3,739	1,936	
14 トモエガモ	60		2	19	25	3	100	1	4	18	9	14	6	7	51		32	9	5	
15 ヨシガモ	57	84	19	26	2	5	23		13	38	79	75	40	26	67	58	40	14	15	
16 オカヨシガモ					3			4		2			12	20	12	31	9	7	12	14
17 ヒドリガモ	37	560	25	49	59	5	110	109	116	374	386	172	177	266	390	153	170	181	223	
18 アメリカヒドリ																				
19 オナガガモ			1	6	22	24	25	11	15	487	271	8	560	297	1,368	115	244	135	71	
20 シマアジ																1		2		
21 ハシビロガモ					2	3	92	115	5	2	18	5	9	19	23	11	4	7	3	3
22 アカハシハジロ			1																1	
23 ホシハジロ	141	528	27	188	157	751	197	242	458	837	762	455	786	629	1,028	3,144	374	177	154	
24 キンクロハジロ	35	486	67	312	371	288	263	109	385	925	716	807	699	972	422	4,395	871	1,092	885	
25 アカハジロ																				
26 スズガモ				12	10			4	98	195	120	387	616	904	1,349	182	262	355	221	
27 クロガモ									3	6		7	3							
28 ホオジロガモ			1			5	3	1	47	21	32	24	32	30	33	48	23	11	10	
29 ピロードキンクロ																				
30 シノリガモ																				
31 ミコアイサ			19	3	2	22	35	1	26	66	35	44	43	40	45	40	84	77	81	
32 ウミアイサ								6		2	4	2	9	2			2			
33 カワアイサ		1	22	9	9	6	2	5	7	11	13	20	63	36	4	42	2	5	12	
不明種			100	30	9	10	214			3							5	92	257	
小計	3,063	4,215	3,952	6,682	12,232	10,503	16,800	6,164	7,653	15,276	12,923	11,050	18,408	22,716	25,867	28,084	21,468	16,965	13,672	
合計	3,067	4,345	3,952	6,682	12,291	10,503	16,800	6,172	7,653	15,306	12,923	11,253	18,409	22,716	25,867	28,085	21,607	17,246	13,674	
備考	調査箇所	6	12	12	16	14	11	14	9	9	13	12	12	11	11	11	11	11	11	
	調査面積ha	1,198	2,481	2,284	3,400	2,725	2,725	2,677	1,395	2,184	2,273	2,268	2,268	2,218	2,218	2,218	2,418	2,418	2,418	2,418
	調査人員	22	35	42	74	78	59	83	46	33	32	35	21	32	36	53	47	52	59	58



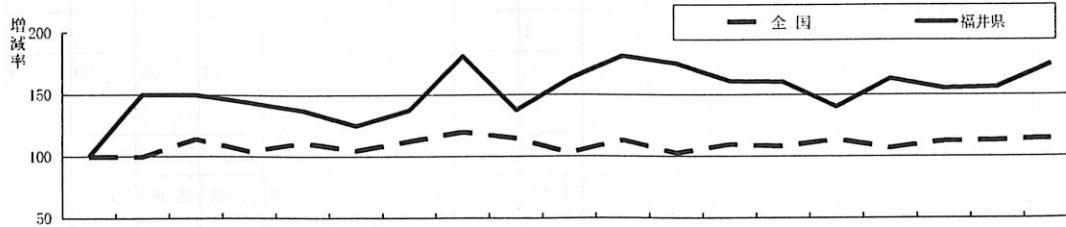
第3図

## カモ類の優占率の経年変化



第4図

### 力モ類の経年比較（平成元年 = 100）



調査年度	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6	H 7	H 8	H 9	H 10	H 11	H 12	H 13	H 14	H 15	H 16	H 17	H 18	H 19
全 国	1,663	1,657	1,895	1,729	1,846	1,742	1,867	1,991	1,903	1,705	1,879	1,704	1,821	1,796	1,888	1,773	1,868	1,879	1,905
福井県	16	24	24	23	22	20	22	29	22	26	29	28	26	26	22	26	25	25	28

## あとがき

今回の調査は、各調査地とも経験豊富で識別力の優れたメンバーで構成し、数多くの成果を収めた。調査記録は保存し、今後の鳥類生息状況調査の資料として重要な役割を果たすものと確信する。

## 調査協力者

井尻 雅己	宇野 秀夫	宇野 竜司	納村 力
納村 紀子	大塚 智樹	大塚 恵子	大橋 正明
大西 五十二	大西 けい子	香川 正行	組頭 五十夫
久米田 裕	久保上 宗次郎	河野 きゑ子	河野 文明
越野 恵子	小嶋 明男	斎藤 衣代	酒井 敬治
笹木 進	清水 美奈子	鈴川 文夫	須本 一郎
瀬戸 靖夫	高田 雄治	高橋 繁応	多田 憲市
多田 喜代子	谷口 真栄	辻 義次	土田 孝幸
中林 喜悦	長谷川 祐一	畠中 武二	畠中 八千子
平城 常雄	堀田 高久	堀田 雅貴	堀田 統大
堀 孝敏	前川 克人	松村 俊幸	三原 学
森田 次夫	門前 孝也	柳町 邦光	山崎 紗夜子
山崎 範子	山下 美佐子	山本 乗彦	横山 大八
吉田 一朗	楽間 準二		

(順不同敬称略)

編集：(財)日本野鳥の会福井県支部  
〒919-0212 福井県南条郡南越前町鯖波18-3  
TEL 0778-47-3006 (門前方)  
発行：福井県自然保護センター  
〒912-0131 福井県大野市南六呂師169-11-2  
TEL 0779-67-1655